

## 平成21年度 県民文化生活部県民文化課組織目標の評価

### 総合評価

平成21年7月に文化振興条例を制定、条例の普及啓発を図るためフォーラムの開催、文化審議会の設置、文化振興基本方針策定に向けての検討を行っています。  
 びわ湖ホール、しが県民芸術創造館や近代美術館等における各種の事業実施により、多彩な文化芸術に触れられる機会を提供し、特に、次代を担う小中学生の鑑賞機会の充実を図ることができました。  
 しが県民芸術創造館や文化産業交流会館では、多様な主体と協働して事業展開を図ることができた。今後とも市町ホールや民間ホールをはじめ、多様な主体との協働を進めるために、お互いの協力関係を深めていくとともに、新たな協働先の開拓に努めていく必要がある。

### 個別目標

番号	項目名	目標の内容	(目標値)	評価	(達成度)	今後の対応
1 (部目標)	県民文化課 県の文化芸術振興のあり方の明確化	どんな状態に 文化振興に関する条例を制定し、条例に規定された文化審議会を設置し、県民の意見等を反映させながら文化振興基本方針の検討を進めています。 どのように(具体的な取り組み) 条例要綱案の県民政策コメント 文化振興条例の啓発フォーラム 文化審議会の設置	文化振興 条例の制定 文化振興 基本方針の検討	平成21年7月に文化振興条例を制定、12月に条例の普及啓発を図るためのフォーラムを開催した。 文化審議会を設置し、平成22年中の文化振興基本方針策定に向けて検討を行っている。		平成22年中の文化振興基本方針の策定に向けて検討を行う。

<p style="text-align: center;">2 (部目標)</p>	<p>県民文化課 青少年向け文化芸術活動機会の充実</p>	<p>どんな状態に 近代美術館、びわ湖ホール、しが県民芸術創造館などの文化施設の取り組みにおいて、多くの青少年が文化芸術を鑑賞しています。 しが文化芸術学習支援センターの取り組みにおいて、多くの青少年が文化芸術を体験しています。 どのように(具体的な取り組み) ・青少年向けの自主公演・普及事業の充実 ・青少年割引料金の設定 ・教育委員会・企業・地域等との連携 ・アートNPOとの協働および文化コーディネーター・ボランティアの育成</p>	<p>文化芸術を鑑賞した小中学生数 25,000人 文化芸術の体験学習者数 9,000人</p>	<p>きめ細かな取組により芸術鑑賞した小中学生数は、概ね目標を達成した。 また、「本物」の文化芸術に触れられる機会を設けることができ、質の面でも充実が図られた。</p> <p>芸術鑑賞した小中学生数 24,640人 県内小中学生総数 129,670人</p> <p>近代美術館 ・常設展・企画展観覧者数 1,813人 ・学校団体観覧者数 835人 ・体験学習の日 217人 ・こどもの日等 558人 小計 3,423人</p> <p>びわ湖ホール ・青少年向け公演 1,506人 ・青少年料金設定公演 83人 ・青少年割引当日券 15人 ・普及事業 336人 ・学校巡回公演等 4,682人 小計 6,622人</p> <p>文化振興事業団 ・青少年料金設定公演 1,709人 ・展覧会 2,322人 ・その他舞台公演 10,564人 小計 14,595人</p> <p>「しが文化芸術学習支援センター」において、学校や文化施設、地域ボランティアとの連携による文化芸術活動を実施することにより、目標を達成することができた。また、学校と文化施設、地域ボランティアを結ぶ文化コーディネーターやボランティア等の育成を図ることができた。</p> <p>文化芸術の体験学習を行った生徒等の数 10,261人</p>	<p>次代を担う青少年に文化芸術活動の機会の充実を図ることは、県の文化振興施策の重要な柱であることから、各県立文化施設の特性を活かしながら施策の充実を図っていく。</p> <p>「しが文化芸術学習支援センター」が活動できる場の拡充を図っていく。</p>
--	-----------------------------------	---	--	--	--

<p>3 (部目標)</p>	<p>県民文化課 びわ湖ホールにおける国内外の優れた舞台芸術公演の提供や、県民に親しまれ愛着を持ってもらえるような事業の推進</p>	<p>どんな状態に 多くの観客に感動を届ける公演が開催されています。 県民をはじめ多くの人々がびわ湖ホールを利用しています。 どのように(具体的な取り組み) ・音楽、演劇、古典芸能など多彩な公演の実施 ・他のホール、企業等との協働と連携の促進 ・ロビーコンサート、学校公演、ワークショップなどの教育普及事業の充実</p>	<p>自主事業の入場率 75%以上 自主事業・貸館事業合わせた入場者数 180,000人</p>	<p>プロデュースオペラをはじめ、オペラ、コンサート、バレエ、ダンス、演劇、古典芸能などの多彩かつ高い水準の公演を実施し、74.7%という高い入場率となった。 自主公演入場者率 74.7% 入場者数 25,309人 (席数 27,525席) 実施済公演数 大ホール 17公演 中ホール 15公演 小ホール 12公演 合計 44公演  ホール入場者数 194,777人 自主事業 44,566人 (自主公演 25,309人) (普及事業 12,351人) (共催公演 6,906人) 貸館事業 150,211人  昨年度に引き続きプロデュースオペラにおける神奈川県立県民ホールとの共同制作や声楽アンサンブルの東京公演など滋賀からの舞台芸術の創造と情報発信が図れた。</p>	<p>高い水準の公演の開催を継続しながらも、県民にびわ湖ホールへ気軽に足を運んでもらえるきっかけとなるような事業にも取り組む。 関西・全国ベースの公報媒体に取り上げられるような話題のある事業に取り組んでいく。</p>
<p>4</p>	<p>県民文化課 しが県民芸術創造館および文化産業交流会館における県民の芸術創造活動の拠点としての機能の充実</p>	<p>どんな状態に 事業展開において文化団体・市町など多様な団体との協働が活発になり、より質の高いサービスが提供されています。 どのように(具体的な取り組み) ・県民参加型事業の実施 ・文化団体、市町など多様な団体との協働 ・県内ホールとの共同・連携事業の実施</p>	<p>・協働した団体数 180団体以上</p>	<p>アートNPO、文化団体等多様な主体との協働により、多彩な事業を展開することができた。 協働数は、目標を大きく上回り、文化施設の運営に県民の参画を求める新しいスタイルとして定着してきた。 事業展開において協働した団体数 178団体</p>	<p>県内全域で事業が実施できるよう、新たに協働する団体の数を増やすとともに、事業内容の充実を図っていく。 それぞれの協働事業について毎年の繰り返しではなくステップアップできるように創意工夫を図る。</p>